

# はじめに

競技力向上検討委員会  
会長 大山 茂

運動部活動は、体力の向上はもちろん、生涯にわたってスポーツに親しむための基礎づくり、豊かな人間性の育成など、生徒の「生きる力」の育成に大きな意義を有するものです。学校の重要な教育活動としても誰もがその意義と価値を認め、生徒の心身の調和のとれた発達を図るとともに、一人ひとりの個性の伸長と学年の枠を越えた望ましい人間関係を育てる上でも大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、近年、少子化による部員数の減少、指導者の高齢化や専門的な実技指導力不足、生徒のニーズや保護者の要望への対応など、新たな課題も出てきている状況にあります。

このような中、新学習指導要領（平成20年3月告示）の総則に初めて「部活動の意義と留意点等」を規定し、教育課程との関連を図ることや、地域との連携などの運営上の工夫を図る必要があることが盛り込まれました。

本連盟では、平成8年に設置した競技力向上検討委員会において、運動部活動における現在の課題を洗い出し、県教育委員会のご指導を仰ぎながら、その解決に向け検討を重ねました。そして平成11年に「運動部活動ハンドブック」を発行し、各運動部活動顧問にとって日々の活動に役立つものとして編集され今日まで活用されてきました。

今回の「運動部活動ハンドブック」リニューアル版は前回発行されてからの10年間におきまして、本委員会でも新たに検討してまいりました内容をさらに盛り込んでいます。新たな内容としましては「運動部活動Q&A」や「メンタルトレーニング」「保護者への対応」等、県内各運動部活動顧問の悩みをアンケートにより直接収集し、実績を残されている優秀指導者から回答をいただいたものも掲載しました。また、運動部活動中の生徒の事故や顧問による体罰・セクシャルハラスメントに関するものについても掲載してあります。

ここにまとめたものは、まだまだ十分な内容ではありませんが、本書が、県内の運動部活動関係者に効果的に活用され、運動部活動の活性化に少しでもお役に立てれば幸いです。

おわりに、本書の発行に当たり、資料を提供していただきました各学校の先生方、並びに、積極的に編集に取り組んでくださいました競技力向上検討委員会の委員の先生方に深く感謝いたします。また、ご指導・ご助言をいただきました県教育委員会はじめ関係の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成23年3月